



「大切にしたい、いのちのビジョン」 働き続けたいがん患者さんの職場復帰支援のプロジェクトをはじめています。

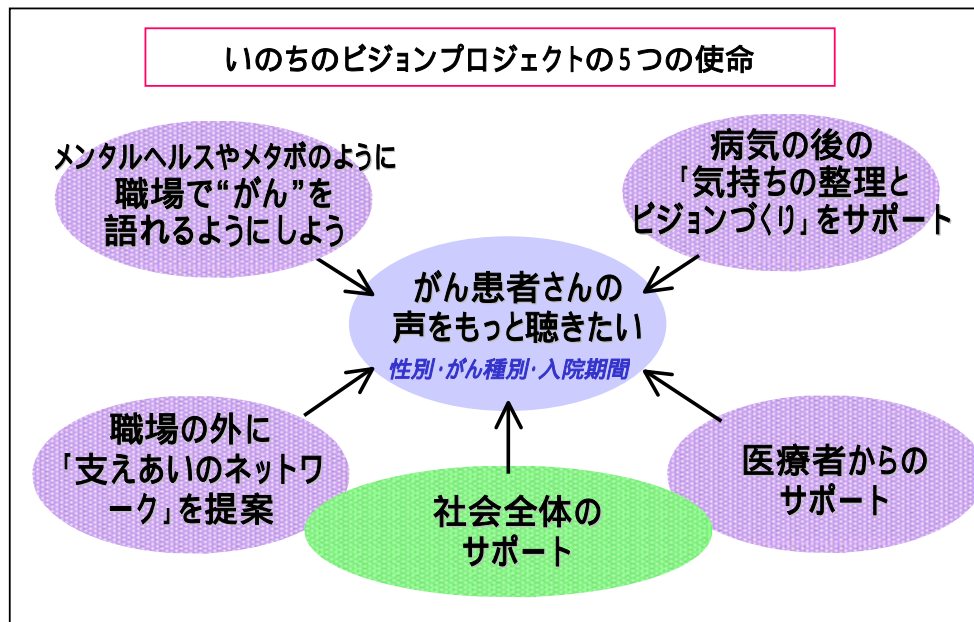
長く、自分らしい働き方を続けられるように、
これからの生き方を良く考える、「気持ちの整理や転換」の機会をサポートしていきます。

働き盛りや管理職のがん罹患者の増加と、短縮化する入院日数を背景に、治療をしながら職場復帰する方が増えてきています。このような社会において、自分なりの働き方を続けるために、職場復帰をするにあたり、これからの生き方を選ぶための「気持ちの整理や転換」すなわち再出発のビジョンが必要なのではないのでしょうか。

NPO法人キャンサーリボンズでは、がん患者さんが自分なりの働き方で仕事を続けられることを目指し、「治療と生活をつなぐ」プロジェクトをバイエル薬品株式会社との協同でスタートいたしました。

これまで、本プロジェクトのアドバイザーによる座談会（患者さん、患者会、治療医、産業医、企業人事で構成）およびがん患者さんへのアンケート調査を実施しております。

今後は、これら一連の活動結果を元に、罹患を「人生の一つの転機」と捉え、早い段階から「気持ちの整理・転換」を行って新しいステージに進んでいただくため、ご自身や周りの様々な立場の人が互いに何が出来るのか、社会全体で支えあうための活動を推進してまいります。



プログラム内容：働き続けたいがん患者さんの職場復帰支援

- 「大切にしたい、いのちのビジョン」プロジェクト -

アドバイザー（NPO法人キャンサーリボンズ 担当理事・委員 五十音順）

- ・荒木 葉子（産業医、荒木労働衛生コンサルタント事務所所長、NPO法人キャンサーリボンズ理事）
- ・岡山 慶子（共立女子大学短期大学 生活科学科社会心理学研究室NPO法人キャンサーリボンズ副理事長）
- ・川畑 雅照（虎ノ門病院分院内科総合診療科部長、NPO法人キャンサーリボンズ委員）
- ・吉野 孝之（国立がんセンター東病院消化器内科医師、NPO法人キャンサーリボンズ委員）